

# 首里城公園新収蔵品展「守れ！！ 琉球の宝」実施結果報告

大城 樹<sup>\*1</sup>

## はじめに

首里城公園南殿二階特別展示室では、常時文化財を展示公開する常設展示・企画展示を行っている。今回は、新収蔵品展「守れ！！ 琉球の宝」という名称で、首里城及び琉球王国の歴史・文化を、当財団が過年度に新たに収集したり、保存修理を終えた歴史資料及び美術工芸資料を中心とした企画展を実施した。また、今回の展示会の実施が、入館者にどのような反響を与えたのかを確認するため、首里城公園管理センターでは展示期間中に一定期間を設けアンケート調査を行った。そこで、新収蔵品展「守れ！！ 琉球の宝」の実施結果を報告しながら、アンケート集計内容を紹介し、入館者の動向を分析し考察を行ってみたい。

## 1 企画展の実施概要

- 1) 企画展の名称：新収蔵品展「守れ！！ 琉球の宝」
- 2) 日程：平成23年4月23日（土）～7月5日（火）（会期日数：74日）
- 3) 会場：首里城公園南殿二階特別展示室
- 4) 期間中の入館者数：264,364名（うち、アンケート期間中の入館者は、71,642名）
- 5) 企画展の展示レイアウトと展示資料

本企画展では、テーマに沿った琉球王国時代の文化財の展示を行った。展示に活用した文化財の総件数は14件20点で、公開した文化財は、全て財団法人海洋博覧会記念公園管理財団所蔵資料である。

## 6) 広報の実施内容

### (1) 首里城公園ホームページの活用

首里城公園のホームページに、展示内容を更新して掲載し、周知を行った。

### (2) パブリシティ広告の活用

県内新聞紙・雑誌の無料掲載欄を積極的に活用し、開催の告知を行った。

### (3) 告知チラシ

A4判両面カラー告知チラシを30,000部作成し、県内博物館・図書館・観光地等を中心に配付した。

## 7) 入館者プレゼントの実施

入館者に企画展及び琉球の文化財に関心を持ってもらおうと、会場内に設置したキーワードと企画展に関するアンケートを応募用紙に記入し、会場内で応募してもらい、抽選で財団所蔵の文化財図録をプレゼントする取り組みを行った。アンケートの実施内容及び集計結果は次項を参照してほしい。

---

\*1 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 事業課調査展示係

## 2 アンケートの実施

### 1) アンケートの記入方法

会場内に設置したキーワードと企画展に関するアンケートを応募用紙に記入し、会場内で応募してもらい、抽選で財団所蔵の文化財図録をプレゼントする取り組みを行った。

### 2) アンケートの項目

アンケートの項目は下記の通り。

〔表面〕 図録プレゼント応募用紙

◆氏名 ◆性別 ◆住所 ◆キーワード

〔裏面〕 アンケート

③年齢 0～10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

④首里城公園への訪問は何回目ですか? 初めて 2回目 3回目 4回目以上

⑤今回の企画展をどうやって知りましたか?

ホームページ ポスター チラシ 新聞 ( ) 情報番組・ニュース

情報誌・雑誌 ( ) ラジオ (FM沖縄:「風に吹かれて首里城めぐり」など)

ここに来て知った その他 ( )

⑥企画展の告知方法として、どのような方法が効果的だと思いますか?

ホームページ ポスター・チラシ 新聞 情報誌・雑誌 CM(テレビ or ラジオ)

その他 ( )

⑦今回の企画展はどうでしたか?

非常におもしろかった おもしろかった 普通 おもしろくなかった

⑧次回は企画展「〇〇〇」が開催されますが…

見に行きたい 考え中 見に行かない その他 ( )

☆ご意見・ご感想

なお、プレゼントの応募用紙に記入させる方式をとったので、アンケート記入者の出身地がかなり正確に調査できた。

## 3 アンケート結果と分析

### 1) アンケート期間 (企画展開催中、一定期間でアンケートを行った。)

平成23年4月23日(土)～5月8日(日) (日数:16日)

### 2) アンケート回答数

図録プレゼントに応募した件数は、期間中の合計883件あった。そのうち、アンケートまで記入された入館者は727件であり、プレゼント応募者の中でのアンケート回答率は82.3%であった。アンケート回答件数は、アンケート期間中(16日間)の入館者(71,642名)に占める割合でいうと1.0%であった。

### 3) 企画展見学者の出身地の割合

企画展見学者の出身地の割合は、県内客が12.7%、県外客が87.1%であった。圧倒的に県外客が多い事が分かる。

その内訳をさらに紹介すると、県内客は那覇市が34.8%で最も多い。次いで、沖縄市が14.1%、浦添市10.9%となり、その他の市町村は、中南部からの入館者がほとんどであり、全て10名未満であった。

県外客の内訳は、東京都が20.2%、次いで神奈川県が10.0%、大阪府の8.2%であった。通年は、次に千葉県や埼玉県が上位に入るのだが、今回は、埼玉県、北海道、兵庫県などが上位に入った。原因が不明であるが、この開催の前月（3月11日）に、国内観測史上最大の地震「東北地方太平洋沖地震」の発生により、国内外への旅行を控える方が多くなったのではないかと考える。

#### 4) 年齢

0～10代が34.9%と多く、次いで30代が19.7%、20代が16.1%、40代が15.5%とほぼ近い割合であった。60代以降の年齢層は、60代が5.5%、70代以上が1.1%と回答が少なかった。10代～40代が多い要因としては、ゴールデンウィークが最大10連休となる大型休暇であったことや、震災のため一時避難で訪れたり、本土旅行を避けての家族旅行先となったためではないだろうか。

#### 5) 性別

男性が38.1%、女性が61.6%であり、女性の方のアンケート記入が多く、関心が高かったようである。家族旅行で訪れた母親が、連れていた子供と一緒に応募していたり、抽選ではあるが「図録が無料で当たる！」とした事によって、女性の応募が多かったのではないかとと思われる。

#### 6) 企画展の事前認知度

「今回の企画展を何で知りましたか？」に対して79.1%の方が「ここに来て知った」と回答している。事前にマスコミリリースやポスター・チラシの県内配布（県内博物館、図書館・観光地等）、首里城公園ホームページでの告知を行ったが、県内外の方への告知が不十分だったようである。今後は、県内外への広報方法を考える必要がある。また、事前に知っていた入館者が、ポスターが9.2%、ホームページが4.5%、チラシが2.8%、情報誌・雑誌が2.0%であることから、街中で見かけるポスター広告や、旅行者が購入するであろう旅行雑誌、ホームページ（の充実）等を介した方法が効果的なのようである。

「告知の方法として、どのような方法が効果的だと思いますか？」に対しては、ホームページが46.2%と最も多く、次にポスター・チラシが好ましいと答えている。ポスター・チラシを見て知った方が12.0%であることから、旅行者が下調べの手段として活用するホームページや情報誌・雑誌への掲載、現地に置いて街中を見ている時に目に入ってくるポスター等が好ましいようである。その他に、「ツイッターなど」や「ホテルにて知れたら順路に組める」、「レンタカーでパンフレットをおく」、「首里城を経由するバス広告」など、旅行手配先や移動手段先、宿泊先などが挙げられた。

#### 7) 企画展の満足度

企画展の満足度について、全体の割合では「非常に面白かった」と回答した入館者が41.0%、「面白かった」と回答した入館者が50.8%と、全体で91.8%の方が満足していただいたものと思われる。どのような内容に満足を得ていたのかは、文末のご意見・ご感想報告の中に理由が書かれているので参照してほしい。

また、満足度が91.8%であったのに対し、次回も見に行きたいと回答した入館者は、全体で55.0%であった。要因として、その他の解答に「見に行きたいが、遠方のため見に行けない」という趣旨の解答が多くみられた。そのため、リピーター対策としては、近郊である県内の方に目を向け、「特に行く用事が無いし、行かなくても困らない」という県民の意識を払拭し、幼い頃から沖縄県の歴史や文化に触れる機会を与え、身近に感じてもらえるよう教育現場での郷土歴史の充実を図り（県内小中学校への出張講座など）、「今までこの素晴らしい文化財へ足を運んだ事もないなんて、もったいない！」と思ってもらえる内容の企画展や、気軽に足を運べるような環境（サービス等）を作る必要があると感じた。

#### 8) ご意見・ご感想の記入内容

ご意見・ご感想の内容は、「沖縄県民ですが、始めて来ました。また来ます。」「まだまだ文化財があることに驚きました。子供たちと歴史を勉強しながらまわれるのは、とても楽しかったです。」「時間をかけてじっくり見たい。」「予備知識がなくても、分かり易いです。」「説明してくれるキャラクターがアニメなので、身近に感じ、より、見学意欲がそそられました。たのしかったです。」という趣旨の肯定意見がほとんどだった。他にも「勉強になりました。他の人にもすすめたい。おもしろかったです。」「家が近場なら何度も来たいです。」「もっと多くの人に見て欲しい。」という意見もあり、滅多に見る事のできない文化財が見れたと言う事や、分かりやすく丁寧な解説などが、満足度に繋がっていったものと思われる。また、「巡回展を各地で開催して下さい。」や、「このような企画を度々やって下さい。」という要望も複数あった。

否定的な意見としては、「展示物をもっとたくさん見せて欲しい。」という意見や、「もっと大きくアピールの方がいいですね!!」などの要望があり、展示室の狭さ・展示物の少なさにより、物足りなさを感じている入館者や、「良い展示をしているのに、お客さんが少ないのはもったいない」という様な事を感じている入館者もいることが伺えた。

#### 4 まとめ

今回の「守れ!! 琉球の宝」は、ほとんどが初公開の資料を展示したことにより、概ね好評であった展示会となった。その事は、会期中に行ったアンケートの満足度が91.8%であった事からも伺える。また、入館者にとって、琉球王国時代の歴史文化の理解に繋がり、「めったに見れない文化財」を見学した事により、新たな発見と感動を与えられる事ができたのではないかとと思われる。

見学者から、ある程度の満足が得られているにもかかわらず、79.1%の入館者が、企画展が行われていることを「たまたま来て知った」と回答した事や、「ご意見・ご感想」にも指摘されたように、周知・広報の弱さが浮き出ている。せっかくの良い企画展が、多くの方に見てもらえずに終わってしまうという事は、とても残念な事だと思うので、様々な方法での周知・広報の強化が今後の課題である。

今後とも、周知・広報の強化を行っていくと共に、アンケートの意見・感想にもあるように、多くの方に喜んでいただけるよう、様々なテーマの企画展の開催を行い、「活動する首里城」といったイメージが付くような施設になるよう、これからも努力していきたい。



南殿2階特別展示室 展示レイアウト

守れ！！ 琉球の宝

平成23年 4月23日(土) ~ 7月5日(火)

